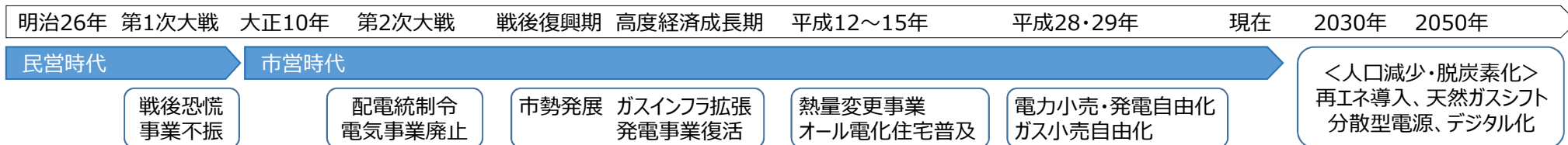


1. 本市ガス事業・発電事業の経過



【これまで】 事業不振に陥った事業を市営化し、地域独占・総括原価方式のもとガス・発電インフラを整備し、市民福祉の向上に貢献（「公」でしかできなかった）

【現 在】 ガス事業：エネルギー間競争の中で公営として重要な家庭用需要が大きく減少
 発電事業：地産地消という事業意義が希薄化し、利益を活用した地域貢献も実現不能
 「民」：料金・サービス多様化、企業間連携等により競争力を高め、消費者に貢献

西暦	1955	1975	1995	2015
ガス市内家庭用普及率	22%	35%	44%	32%
供給電力 (GWh)	-	105	155	145

【これから】 人口減少、エネルギー自由化の進展等により、事業環境が大きく変化
 「民」を活用して経営力強化やサービス充実等を図り、市民福祉のさらなる向上に資することが求められるのではないか

2. 本市と民間の比較

	本市	民間
保安	<ul style="list-style-type: none"> 電気事業法、ガス事業法に基づき、各事業者が保安規程等を作成し、国に届出（ガス工作物に係る保安規程、消費機器調査等に係る保安業務規程、電気工作物に係る保安規程） 発電のダム運用は、ダム操作規則等に基づき実施 発電事業者、ガス事業者は、365日24時間体制で保安体制を構築 日本ガス協会「保安向上計画2020」に基づき導管保安対策等を推進 	
安定供給（ガス）	<ul style="list-style-type: none"> LNGは国内の輸入事業者から、ローリーで東西2ルートから調達 耐震化率目標（2030年 90%） 	<ul style="list-style-type: none"> 大手事業者はLNGを自社で輸入 その他事業者は、パイプライン又はローリーで調達
料金（ガス）	<ul style="list-style-type: none"> 少量使用者に配慮した料金体系 料金水準維持には普及率向上等が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 一般的に普及率は本市よりも高く、料金に効率性を反映
サービス（ガス）	<ul style="list-style-type: none"> セット販売等の附帯事業の実施が困難 	<ul style="list-style-type: none"> セット販売、ポイントサービスなど多様化が進展
技術開発（ガス）	<ul style="list-style-type: none"> 技術導入は実施 技術開発は未実施 	<ul style="list-style-type: none"> 大手、中堅は技術開発部門を設け、保安、安定供給、サービス等のレベルアップを推進